

「センダイヘンジ」を知っていますか？ 仙台市で1年に2回見ることが出来ます

河北新報やさしい日本語ニュース 2024年2月21日

アメリカのニューヨークに「マンハッタン」という場所があります。とても高い建物がたくさんある場所です。そこでは1年に2回、夕方に面白いものを見ることができます。建物と建物の間に、太陽が見えるのです。これをニューヨークの人は「マンハッタンヘンジ」と言っています。たくさんの人がマンハッタンヘンジを見るイベントもあります。

同じようなことが、仙台でも2月と10月の夕方に起きます。定禅寺通や広瀬通で、建物と建物の間に太陽が見えるのです。2023年10月、河北新報がこのニュースを書きました。スマートフォンで写真を撮る人もいて、すぐに有名になりました。仙台の人は、これを「センダイヘンジ」と言っています。

どうして、こんなことが起きるのでしょうか。それは太陽の動き方と関係があります。太陽は東から西へ動きます。仙台の定禅寺通と広瀬通も、東から西へ通っている道路です。そして、太陽は1年に2回だけ、二つの道路と同じ方へ向かって動きます。それで、センダイヘンジを見ることが出来ます。

仙台市天文台（宇宙のことを調べている所）は、センダイヘンジに興味があるそうです。天文台の人は2月19日、仙台市の「どこで、何時ごろ、センダイヘンジを見ることができるか」を調べました。これからは、仙台でも太陽を見るイベントを開きたいと思っています。

天文台の松下真人さん（43歳）は「センダイヘンジの写真を撮って、インターネットでたくさんの人に見てもらいたいです。簡単に楽しむことができるのがいいですね」と話しています。

イギリスでは、大きい石と石の間に太陽が見える「ストーンヘンジ」が有名です。



【河北新報社提供】



やってみましょう

ぶん^{ぶん}よ^よんで、ただ^{ただ}正しいものに○、ただ^{ただ}正しくないものに×を書^かいてください。

- ① () マンハッタンヘンジは、いつでも見^みることができます。
- ② () センダイヘンジのニュースは、最初^{さいしょ}に新聞社^{しんぶんしゃ}が紹^{しょう}介^{かい}しました。
- ③ () 天文台^{てんもんたい}では、センダイヘンジの写^{しゃ}真^{しん}を撮^とったり、イベントを開^{ひら}いたりしています。
- ④ () イギリスのストーンヘンジは、石^{いし}と石^{いし}の間^{あいだ}に太陽^{たいよう}が見^みえます。



書きましょう

ニューヨークの _____ では、1年^{ねん}に _____、夕^{ゆう}方^{がた}に建^た物^{もの}と _____ の
 間^{あいだ}に _____ が見^みえます。これをニユーヨークの^{ひと}人は _____
 と^いっています。同^{おな}じようなことが _____ でも _____ と _____ の夕^{ゆう}方^{がた}
 に _____。仙^{せん}台^{だい}の^{ひと}人は、これを _____ と^いっています。イギリス
 では _____ が^{ゆうめい}有名^{めい}です。



話^{はな}しましょう

- あなたは、きれいな夕^{ゆう}日^ひ (夕^{ゆう}方^{がた}の太^{たい}陽^{よう}) を見^みたことがありますか。どんな^{ばしょ}場^み所^みで見^みましたか。
- あなたの好^{だい}き^すな景^け色^{しき}を教^{おし}えてください。写^{しゃ}真^{しん}があつたら見^みせてください。